

NPO 大阪府就労支援事業者機構 松田事務局長が講演



第一回よりそいセミナー開催

8月26日15時～ 大阪市北区「豊崎東会館」を会場に、第1回よりそいセミナーを開催しました。よりそいネットの会員のほか、矯正施設関係者ら約50人が参加されました。開会に先立ち 藤本和衷会施設長があいさつに立ち、「今日は、自立支援の中心になる今日的な『就労支援』をテーマに現場での話をじっくりと聞きたい。」とあいさつ。講師のこれまでの経験を踏まえ、就労支援を通した「更生保護」について熱弁をふるっていただきました。また、質疑では刑務所内での様子などもお聴きでき、ました。そのご、大淀寮の見学等がされました。

～ CONTENTS ～

- ◇ 第1回よりそいセミナー報告・「大淀寮」の見学
- ◇ 来年度の定着支援センター事業に向けた大阪府への要請行動
- ◇ 司法福祉学会(大阪)でパネル展示、犯罪社会学会では報告書頒布
- ◇ 第2回セミナーのご案内

基調講演

◇『居場所と出番』法務省と厚生労働省の連携

法務省、更生保護の仕事を 38 年間にわたり携わってきた。

4 年前に退職。現在、NPO 大阪府就労支援事業者機構で、就労支援の取り組みを実施している。

更生保護と福祉の関係がよくなったのはこの 10 年。「社会における『居場所』と『出番』づくり」をキャッチフレーズに事業がスタートした。更生保護とは、社会の一員としての改善更生。大きな目的は、社会との再統合、すなわち社会復帰支援であると考えている。

2013 年に、約 3,000 人の意向を調査した。その中では、「再犯予防に必要な支援策」との問いに、「住居と仕事」と回答が 58,6%。一方で、保護観察後、満期出所後の「相談先がない」という結果も示された。いきなり“自由に生きてください”とされるが、突拍子もない感じはある。特に、高齢者と少年は社会的な受け皿は少ない。

◇更生保護就労支援事業 モデル事業から本事業に

有職者と無職者の再犯率は、無職者が 5 倍というのが現実。就労先の確保が特に重要になってきた。厚労省と法務省の連携により、刑務所出所者等総合的就労支援対策がスタート。トライアル制度や身元保証人制度も始まった。

ハローワークのお客さんは、求職者（ひと） 求人（企業）。いつ出てくるかわからない「出所者」の支援は難しい。刑務所から出るときに持っているお金はごくわずか。入所中に面接し、出所してすぐ働けるような準備をする。生活が破たんしない手立てが必要。社会内処遇の一番の問題は、働いている間に手持ちのお金がなくなる。また働いている間にさまざまな問題が出てくる。上司との関係。給料が安い、いつ上がるか……。これらを就労支援員がサポートして、生活の安定、定着の支援を行っている。

現在 43 件のケースに対応。前年度からの継承は、12 件。こうしたシームレスな支援構築が議論されているが、再犯率を下げないとスクラップされる。

いま、就職先の確保という面からもソーシャルファームに注目が集まっている。付加価値の高い事例、企画が始まっているので注目してほしい。



救護・更生施設大淀寮などを見学



講演終了後、救護施設・更生施設・自立支援センターの事業説明をいただき、全員で、見学を行いました。

地域生活定着支援センターの運営について 大阪府へ要望行動

10月17日(金)に、大阪府福祉部酒井部長に対して、来年度以降の地域生活定着支援センター事業の予算確保を含めた円滑な運営について、梶本代表理事をはじめ、理事・事務局をはじめ9名で府庁を訪れ、要望書を手渡しました。



酒井部長からは、「定着支援の取り組みは、重要であり、予算確保に向けた国への働きかけをタイミングを見て行いたい」との認識を示されました。

出席理事 梶本代表・奥村・富田・松崎・笹井(各理事)、武田所長・田岡・岡本・北場(事務局)

学会でのパネル展示・活動紹介

2014年8月2日(土) 追手門学院大学大阪城スクエアで開催された「司法福祉学会」において「(一社)よりそいネットおおさか」の活動紹介パネルの展示、連携・協力いただいている施設のパンフレットの紹介や調査報告書の頒布を行いました。



また、10月18日(土)～19日(日)、京都産業大学 神山ホールで開催された「日本犯罪社会学会」では、「更生保護施設及び更生保護施設入所者・退所者の実態に関する調査」報告書の頒布を行いました。

第2回セミナーのご案内

第2回セミナーは、12月16日（火曜日）『更生保護の現場から』をテーマに、大阪保護観察所 幸島所長のコーディネートで、地域で活動されている保護司の皆さんなどからお話を伺います。みなさん ぜひご参加ください。

日時 12月16日（火）15：30～

場所 「豊崎東会館」（大阪市北区長柄西1丁目1-39）

《テーマ》「地域における更生保護の現場から」

コーディネーター：幸島 聡 さん（大阪保護観察所所長）

パネリスト：保護司のみなさん等

（交流会） 17：30～ 交流会（会費制）

一般社団法人 全国地域生活定着支援センター協議会 第5回 現任者スキルアップ研修のご案内

平成27年1月20日（火）、21日（水）全定協主催の第5回 現任者スキルアップ研修が開催されます。『今、求められる支援とは — 連携支援の強化・充実 —』をテーマに、研修を通じて、関係する人たちが実感できる連携の在り方を、ともに考えていけることを願っております。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

日時 【1日目】平成27年1月20日（火） 研修・情報交換会

【2日目】平成27年1月21日（水） 分科会

場所 「大阪国際交流センター」（大阪市天王寺区上本町8-2-6）

《テーマ》「今、求められる支援とは — 連携支援の強化・充実 —」

（主催）一般社団法人 全国地域生活定着支援センター協議会

（参加費）資料代のみ 1,000円

（情報交換会費）お一人 6,000円

◇メーリングリスト登録希望の方

表題にメーリングリスト登録希望としていただき、①名前 ②所属 ③登録するメールアドレス、をご連絡ください。



oosakateichaku@oosaka-teichaku.jp

一般社団法人よりそいネットおおさか

大阪府地域生活定着支援センター

住所 〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4番15号

電話番号: 06-6762-8644 FAX: 06-6762-8645

電子メール アドレス oosakateichaku@oosaka-teichaku.jp

Web サイト <http://yorisoi-osaka.jp/>

一般社団法人



よりそいネットおおさか

